



The University of Kitakyushu

ミライズ

MIRISE

MIRISE



MIRISE



「自分の未来図」をカタチにした
北九大生の就活体験記

The University of Kitakyushu

ミライズ

MIRISE

「自分の未来図」をカタチにした 北九大生の就活体験記

就活は挑戦の連続。

25人の卒業生が語る、就活の舞台裏。

冊子タイトル「MIRISE」は「未来」と「rise」（上昇）を組み合わせた造語です。

夢や目標に向かって一歩ずつステップアップし、自分の「未来図」をカタチにした

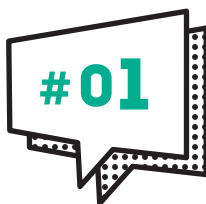
北九州市立大学卒業生25人の就職活動にまつわる貴重な体験談を集めました。

先輩のリアルな声を参考にして自分自身が納得のいく結果を出しましょう。

キャリアセンターは北九大生の就活を全力でサポートします。

CONTENTS

# 01	株式会社JALスカイ九州	P02
# 02	株式会社スターフライヤー	P02
# 03	全日本空輸株式会社	P03
# 04	ANAエアポートサービス株式会社	P04
# 05	株式会社JALスカイ	P04
# 06	株式会社JALグランドサービス	P05
# 07	中国ターミナルサービス株式会社	P06
# 08	裁判所(福岡)	P06
# 09	財務省 中国財務局	P07
# 10	内閣府 沖縄総合事務局	P08
# 11	北九州市役所	P08
# 12	財務省 福岡財務支局	P09
# 13	広島県庁	P10
# 14	株式会社西海建設	P10
# 15	日鉄エンジニアリング株式会社	P11
# 16	日鉄高炉セメント株式会社	P11
# 17	株式会社オカムラ	P12
# 18	キヤノンマーケティングジャパン株式会社	P12
# 19	九州電力株式会社	P13
# 20	TOPPAN株式会社	P14
# 21	TOPPANエッジ株式会社	P14
# 22	株式会社福岡銀行	P15
# 23	株式会社JTB	P16
# 24	株式会社ピエトロ	P16
# 25	学校法人 麻生塾	P17
	キャリアセンターについて	P18



一ノ宮 陽菜さん
地域創生学群 地域創生学類
出身校：大分県立竹田高等学校

内定先：株式会社JALスカイ九州

職種：グランドスタッフ

目指したきっかけ、 大学生活で力を入れたこと

私が航空業界を意識したのは小学生の頃でした。大学進学の際、航空業界を見据え、語学系の学部に進学したかったものの、成績が上がらず、語学系の学部を志望することを諦めました。しかし、大学進学後も航空業界への興味が捨てきれず、就職活動の際、航空業界も視野に入れ活動しました。

私が大学生活で力を入れたことは2つで、「とりあえずチャレンジ」と「語学学習」です。1つ目の「とりあえずチャレンジ」とは、自分が少しでも気になることや面白そうだったと思ったことは、とりあえずチャレンジするということです。私は「とりあえずチャレンジ」の mindset で、ラジオパーソナリティをしたり、洋服のブランドを友達と立ち上げ、ポップアップイベントを開いてみたりするなど、貴重な経験をすることができました。一見、難しそうに聞こえるかもしれませんが、私は友達や周りの環境に恵まれ「やってみよう」という気持ちや「面白そう」という思いが形になっただけで、特別なことは何もしてきませんでした。

チャンスというものには本当にどこに転がっているかわからないので、自分の直感を信じて、やってみようことを積極的に行ってみてください！また、この経験は就職活動において自分らしさをアピールする際にとても重宝しました。

2つ目の「語学学習」は私自身、英語が大の苦手だったので克服したいと思い、1年次から取り組んでいました。特に隙間時間をどう上手く活用できるかがカギだと思っています。具体例として、私は移動時や家事をしている時に、英語のニュースを聞きながら過ごすことや、集中しやすい勉強サイクル（25分勉強し休憩5分のサイクル）を意識していました。図書館利用ももちろんおすすめですが、行きたくない日などは家でYouTubeを利用し、スタディタイマーをつけて勉強するのもおすすめです。

就職活動について内定までの努力

私が内定を頂くまでに意識していたことは「自分ならでき」というmindsetを常に持ち続けることです。私は航空業界、公務員（特別枠）、一般企業と広く就職活動を行いました。

そのため、公務員試験に必要なSPI3の勉強と同時並行で、一般企業に提出するエントリーシートの作成や自己分析に追われ、本当にしたいことが分からなくなることもしばしばありました。その時に落ち込むのではなく「自分ならできる」というmindsetを持つ事で、前向きに考えることができました。その結果、諦めず自分のペースで納得のいく就職活動を行うことができました。私は前向きでいることは自分の自信にもつながると考えています。さらに就職活動においても、どんな事より気持ちが一番大事だと思っています。落ち込まず「自分ならできる」mindsetで挑戦してみてください。自然と風向きは良い方向に変わっていくはずです。

後輩へのアドバイス

「航空業界を志望する＝英語ができないといけない」もちろんある程度は必要です。けれど、私のように航空業界へ憧れはあるけど、英語が得意ではない人は少なからずいると思います。私がそうだったように、誰にでも可能性はあるし、チャレンジする前に諦めるのはもったいないと就職活動を通して実感しました。少しでも興味があるなら、自分のできることを小さなことからでもいいので日々積み上げてほしいです。

何度も言いますが、私自身本当に英語がネックで、TOEICも受ける度に点数が下がっていく一方で（笑）何度も心が折れそうになりましたが、次こそはと粘り強く図書館に通って勉強し、2年かけて自分の目標に到達しました。大切なのは「負けず嫌いなmindset」。

航空業界に限らず、どんな進路を選択するとしても、自分を信じて！たくさんチャレンジしてください。応援しています。



M.K.さん
外国語学部 中国学科
出身校：沖縄県立那覇国際高等学校

内定先：株式会社
スターフライヤー

職種：総合職



H.A.さん
外国語学部 英米学科
出身校：福岡県立久留米高等学校

#03

内定先：**全日本空輸株式会社**

職 種：客室乗務員

目指したきっかけ、 大学生活で力を入れたこと

客室乗務員を目指したのは9歳の頃でした。きっかけは実際に客室乗務員として働いている知り合いに感化されたこと、飛行機に乗った時の経験です。

大学生活ではアルバイト、特に接客業に力を入れました。客室乗務員と同じレベルのサービスができるよう、平日頃意識しながら働いていました。

目指したきっかけ、 大学生活で力を入れたこと

スターフライヤーでの総合職を目指したのは、提供しているサービス等に感動した経験がきっかけで、スターフライヤーを沢山の方に知っていただく機会を作りたいと考えたからです。そこで、イベントの企画や新規事業に携わることでできる総合職を目指しました。

私が大学生活で力を入れたことは語学の勉強です。留学を予定していた2020年にコロナ禍の影響で渡航することができなかったのですが、その中でオンライン留学の制度を見つけ、HSK奨学金を利用して受講をしました。

就職活動について内定までの努力

私は最初、公務員を志望しており、一般企業への就職を考えていなかったため、一般企業への就職活動に切り換えてスタートした時は、周りよりも少し出遅れていました。そこで、とにかく自己分析を重ね、自分のやりたい事、そして自分の経験を振り返り、今の自分にどのような力があるのかを考えました。気になる

就職活動について内定までの努力

就職活動に関しては、ダブルスクールでエントリーシート添削、面接練習を重ねながら、立ち居振る舞いなどを学びました。ひたすら面接練習を重ね、面接に対する恐怖心をなくしたことで、どんな質問が来ても怖気づかず堂々とした態度で臨めたと思います。

また、面接練習において、質問内容や回答例、面接時に気を付けること、企業研究などすべてをノートに記録することで、自分の努力が目に見え、手に持てる形となって、面接前の緊張や不安を取り除いてくれました。

後輩へのアドバイス

就職活動では面接練習やエントリーシート添削ももちろん大切だと思いますが、これらは実際に選考本番に挑む際、自信をつけるための材料に過ぎないと思います。どんなに練習しても不安は消えないとは思いますが、「自分はこれだけ頑張ったのだから落ちるはずがない」と自信を持って面接に挑むことができるように、これ以上できないと思うくらいとことん練習、ひたすら準備をすることが大事だと思います。不安や緊張に押しつぶされそうになった時に、きっとその経験が自信に繋がります。面接で緊張せず、いつもの「自分らしさ」を表現することが選考通過に繋がると思うので、その自信をつける材料づくりをぜひ頑張ってください！

業界や好きな会社をとにかく調べ、一社内定を頂いた状況でも、そこで満足して就活を終えるのではなく、好きな会社のリクルート情報を調べ続けました。私の就職活動で一番活かした自分の強みは、最後まで諦めずにやりきる力だったのかなと振り返ってみて感じています。

後輩へのアドバイス

就職活動での悩みは人それぞれだとは思いますが、まず、就きたい仕事や業界が定まらない方は、自分が少しでも魅力を感じるもの、今まで感動したものを思い返して、そこにある企業を調べる、選考に進んでみるというのもありかもしれません。就職活動を進める中で新たにやりたいことができたり、実は自分が憧れていたものに気づかされたりすることも沢山ありました。面接も、精一杯自分をアピールする場だと思って、気負い過ぎず、楽しむことが大切だと感じました。就職活動において無駄だと思うことは無いので、全てが何かの形で自分の力になると信じて、最後までやり切ってください。

周りには沢山支えてくれる大人がいると思うので、頑張り過ぎず、自分のペースで、人に頼るところは頼りながら頑張りましょう！



#04

氏名非公開
外国語学部 中国学科

内定先: **ANAエアポートサービス株式会社**

職 種: グランドスタッフ

目指したきっかけ、 大学生活で力を入れたこと

高校の修学旅行で初めて空港を利用した時にグランドスタッフに出会ったことがきっかけで、この職業を目指すようになりました。大学生活で力を入れたことは、3つあります。1つ目は語学の勉強で、専攻の中国語とTOEICのスコアを少しでも上げられるように頑張りました。2つ目は、大学内での活動に積極的に参加し、アルバイトも4年間継続したことです。3つ目は就職活動に関することで、学内の説明会やエアライン講座に応募したり、学外ではオープンカンパニーやインターンシップに参加しました。

就職活動について内定までの努力

エントリーシートは決められた文字数の中で伝えたいことを全部入れられるように、何度も推敲しました。志望動機やガクチカ(学生時代に力を入れたこと)などのよく聞かれる項目は、大枠を決めて細かい内容を企業ごとに变えることで、面接の時に話しやすいように工夫をしました。面接は身だしなみが重要です。笑顔を絶やさず、挨拶を元よくきっちり行うことを意識しました。面接官と話しているときは常に相手の目を見て、なぜその企業で働きたいのかを、明確にし、長くならないように気を付けて話しました。

後輩へのアドバイス

就職活動を行って大切だと感じたことは2つあります。1つ目は情報をたくさん集めることです。3月の解禁後はたくさんの情報が入ってくるので友達と共有したり、締切日を整理したりすることが大事だと思いました。2つ目は面接を多く経験することです。緊張しなくなるように回数をこなすことが大切です。自分が受ける企業の選考時期が他の企業より遅めだと、周りが内定を獲得して就職活動を終わらせていく中で焦ってしまうこともあります。周囲を気にせず、最後までやりきってください。私は様々な空港に面接を受けに行ったので、各地に友達ができ、就職活動を楽しんで行うことができました。



#05

石橋 愛理さん
文学部 比較文化学科
出身校: 福岡県立京都高等学校

内定先: **株式会社JALスカイ**

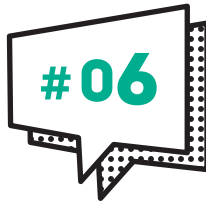
職 種: グランドスタッフ

目指したきっかけ、 大学生活で力を入れたこと

私の大学生活はコロナ禍と同時期に始まったので、最初は何もできませんでしたが、そんな中でも、接客業のアルバイトからビジネスマナーやコミュニケーションを学び、オンラインで実施されているエアライン講座に1年生から参加するなど、積極的に取り組んでできました。私はエアライン専門のスクールに通っていませんでしたので、できるだけ大学で実施されている講座や外部の説明会に参加するよう心掛けていました。3年生からは、留学生と接する機会ができたので、異文化交流や語学学習にも力を入れていました。

就職活動について内定までの努力

会社については、今後どのように発展していくか、そのために求められる人とはどのような人かをホームページや月刊エースページなどを用いて調べながら、自分はどういうように貢献できる



H.N.さん
経済学部 経済学科
出身校: 筑紫台高等学校

内定先: **株式会社JALグランドサービス**

職 種: **グランドハンドリング**

目指したきっかけ、 大学生活で力を入れたこと

元々空港で働きたいと感じていたものの、職種の選択で悩んでいました。大学3年生の時に、初めて一人で飛行機に乗ることになり、離陸直前まで不安を感じていましたが、窓の外からグランドハンドリングを行う方々が手を振っているのを見て、不安が和らいで落ち着いてフライトに臨めたという経験を通して、最後までお客様を見送ることができ、飛行機の近くで働けるグランドハンドリングに魅力を感じ、志望しました。

かをまとめていました。会社のカラーを理解していないと、「他の会社でも良いのでは？」と思われるので、その会社ならではの情報を調べておくとういことです。

「学生時代力を入れたこと」はいくつかあったので、会社によって変えていました。会社説明会も何度かあるので、志望度が高いところは何度も参加していると、その会社の方針が見えてきます。私は会社説明会に参加し、人事の話を聞くことで、エントリーシートで問われている内容、求められている内容と自分の考えにずれがあることを認識し、修正することができました。また、仕事をするにあたって大切なことや大変なことへの理解、その大変な時に乗り越えられる人物かどうかを見られると思うので、仕事内容の理解を深め、知識を蓄える必要があります。エアライン受験では、身だしなみも見られます。スーツが自分の体型に合っていない人は受験者側から見てもわかるので、袖や丈などは事前にしっかりとチェックしてください。面接前にはパンプスも磨くようにしていました。髪色、髪型も制服を着たときのことを想像して見られるので、面接前に必ず整えましょう。

グランドハンドリングではあまり求められませんが、一般的に航空会社を目指す上では英語力が問われることも多いため、特にTOEICの点数を上げられるように力を入れました。

就職活動について内定までの努力

航空系では、グランドハンドリングの会社を2社、貨物の運搬を行う会社を1社、合計3社にエントリーし、グランドハンドリングの会社は2社とも内定を頂き、貨物運搬の会社は最終面接前にJALグランドサービスの内定を頂いたため辞退しました。JALのグループ会社で働いている友達がいたので、実際に働いている人目線でのJALの魅力を聞いたり、グランドハンドリングの中にもいくつか種類があるので、それぞれの仕事の魅力を探すために動画を見たりして、仕事への理解を深めることに力を入れました。

後輩へのアドバイス

他の航空会社ではなく、なぜその航空会社なのか、グランドハンドリングの会社もいくつかある中で、なぜその会社なのかを明確にし、言語化しておくことが最も重要なことだと感じました。また、キャビンアテンダントやグランドスタッフのような花形ではないグランドハンドリングの仕事に、どんな魅力を感じているのかを十分に伝えることができれば、内定を勝ち取ることができるのではないかと思います。辛いこともあると思いますが、就活頑張ってください!!

後輩へのアドバイス

専門学校やエアラインスクールに通っていない方は、不安に感じることもあると思いますが、強い思いがあれば必ず内定を獲得できると思うので、自信を持って頑張ってください。航空会社との出会い、仕事との出会い、仕事への思いが強くなった自分だけのエピソードがあると、面接官の印象に残ります。なぜその仕事を目指すようになったのか、しっかりと自分の中で明確にしておくとういことです。面接が苦手な方もいらっしゃると思いますが、会話だと思って、その場を楽しんでください。

エントリーシート用の写真は、お金をかけて損はないです。写真は第一印象なので、ぜひプロに撮ってもらってください。インターンシップがある場合は、参加することで知らなかった部分がたくさん見えます。良いところも大変そうだなと思うところも人間関係もたくさん見えます。選考に繋がる会社もあるかもしれないので、ぜひ参加してみてください。

就職活動が始まると、常に何かに追われると思いますが、美味しいものを食べて、自然に触れて、心と体を癒すことを忘れないでください。息抜きも大事です。皆さんが希望の会社から内定をもらえるよう、祈っています。自分らしく頑張ってください。応援しています。



K.M.さん
外国語学部 国際関係学科

内定先: **中国ターミナルサービス株式会社**

職 種: **グランドスタッフ**

目指したきっかけ、 大学生活で力を入れたこと

幼少期の頃から父親の出張の送迎のため、広島空港に行く機会が多くありました。広島空港に行くという予定を聞くと、楽しみになり、胸を高鳴らせていました。父親が乗っている飛行機が飛び立つのを見送るだけでなく、家族で食事をしたり、飛行機の離発着を見学したりしていたため、広島空港は、幼少期の私のワクワクが詰まった家族の思い出の場所です。

そこで私も空港に来られる方の快適な旅の始まりのお手伝いをしたいと思い、目指しました。

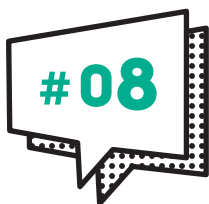
大学生活では、飲食店でのアルバイトや新入生サポートセンターでの活動に力を入れ、人と関わる機会を積極的に増やし、相手に何を求められているのか汲み取るようにしました。様々な人と関わる中で、コミュニケーションを円滑に進める自分なりの方法を見つけることができました。

就職活動について内定までの努力

大学のキャリアセンターでカウンセラーの先生に、志望動機の添削と面接練習をしていただきました。面接練習では、答え方だけでなく、動作や姿勢、細かい仕草までご指導いただき、家でも意識して練習するようにしました。

後輩へのアドバイス

面接では、ここで働きたいという強い気持ちを伝えることと、自分らしさを前面に出すことが大切だと思います。少し早く面接会場に着いたら、身だしなみを整えるだけでなく、自分がそこで働いている様子をイメージして面接に臨むようにしました。大学生活の中で語学力を伸ばすことも大切ですが、同じくらい自分らしさを確立することも大切だと思います。



町野 朱音さん
法学部 法律学科
出身校: 福岡県立香椎高等学校

内定先: **裁判所(福岡)**

職 種: **一般職(国家公務)**

目指したきっかけ、 大学生活で力を入れたこと

3年の夏から秋にかけて裁判の傍聴に行った事をきっかけに、裁判に関わる仕事に就きたいと考えました。

大学生活では、アルバイトや同好会、ゼミ長、プログラミング等、興味のある事に積極的に取り組み、面接で話せるネタを作りました。また、通学の電車で勉強や自己分析を行うなど、隙間時間を大いに活用していました。



O.M.さん
文学部 人間関係学科
出身校: 広島市立舟入高等学校

内定先: **財務省 中国財務局**

職種: **専門職(国家公務)**

目指したきっかけ、 大学生活で力を入れたこと

キャリア関係の授業で、公務員試験に合格した先輩の話を聞いたことが、公務員の仕事に興味を持ったきっかけです。会社の利益を追求するよりも、国民全体の利益のために働くことの方が自身に合っていると感じ、3年生の春から北九大生協の公務員講座を受講し始めました。

大学生活では一つのアルバイトを長く続けており、ガクチカ(学生時代に力を入れたこと)に活かすことができました。

就職活動について内定までの努力

生協の公務員講座を5月から受講し、筆記試験対策と面接対策を行いました。私は文学部出身ということもあり、専門的な知識が必要な筆記試験は不安が大きかったです。しかし、同じ講座の仲間と励ましあったり、先輩サポーターと勉強のスケジュールを立てたりすることで乗り越えることができました。

面接対策ではゼミの先生に面接カードを添削していただき、大学のキャリアセンターや北九州市の若者ワークプラザで面接練習を繰り返し、内定をいただけるよう努力しました。

後輩へのアドバイス

公務員試験は多くの民間企業よりも採用決定が遅いため、ほとんどの人が焦りや不安を感じると思います。私の場合、逆算して1ヶ月ごとの目標を立てた後に、1週間の目標、1日の目標、と予定を立ててこなすことで、目の前のことに集中できました。

また、息抜きを取り入れることは長期戦を乗り越える上で本当に大切だと感じました。あとはサポートしてくださる方の意見を積極的に聞いて、一人で追い込みすぎないように取り組んでください。応援しています！

就職活動について内定までの努力

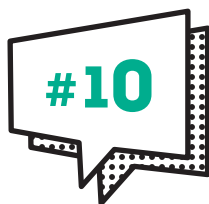
私は就職活動を始めた時期が遅く、一次試験の勉強期間は3ヶ月半程だったため、勉強方法を工夫しました。私の場合は、毎日なるべく多くの科目に触れ、ノートをきれいにまとめるよりも、その場で全て覚えるつもりで繰り返し問題を解きました。また、どのタイミングで暗記の効率が落ちるかということも意識していました。

さらに、面接対策として、先生やお客さんなど目上の人と話す中で、敬語・丁寧語を日常的に繰り返し使うことで、社会人に求められる言葉遣いが自然と身につくように工夫をしていました。

後輩へのアドバイス

やはり、早めに勉強を始めるに越した事はないですが、自分に合った効率の良い勉強方法を見つけることができれば、短期間でも合格は可能です。あまり気負い過ぎず、心身の健康にも気を付けながら頑張ってください！！

面接については、普段から自分の内面と向き合ったり、言葉遣いを意識したりしておく、もし本番で緊張してしまっても、ある程度のパフォーマンスができます。大学の行き帰りの時間や、人と話す機会をぜひ有効活用してください！！



荒金 花さん
経済学部 経済学科
出身校：沖縄県立
那覇国際高等学校

内定先： **内閣府 沖縄総合事務局**

職種： **一般職(国家公務)**

目指したきっかけ、 大学生活で力を入れたこと

説明会に参加し、沖縄総合事務局の仕事は「国の視点で沖縄振興に携われる」という点に惹かれ、入局を目指しました。大学生活では、地域共生教育センター(421Lab.)^{*}の子ども食堂応援プロジェクトに所属し、子供たちが安心して楽しく過ごせる場を作れるように取り組みました。

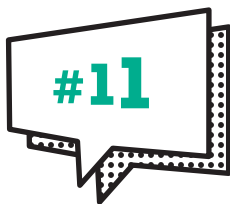
※北九州市立大学地域共生教育センター(通称:421Lab.)は、地域社会における実践活動を通じ次世代を担う人材の育成を目指すとともに、地域貢献活動の一翼を担うことを目的に設置。

就職活動について内定までの努力

筆記試験対策では、問題集を解くのに時間をかけること、1日でも多くの科目に触れることを意識していました。また、家では勉強できないタイプだったので、なるべく早く大学へ行って勉強せざるを得ない状況に身を置くようにしていました。面接対策では、公務員講座やキャリアセンター、公務員研究室、若者ワークプラザ等、いろいろな立場の人とできるだけ多く面接練習を行うようにしました。また、同じ志望先を目指す受講生を呼び集め、情報共有や官公庁研究、面接練習に取り組みました。

後輩へのアドバイス

公務員試験では、いかに自分のことを理解しているかが重要だと思います。どの科目が得意・不得意かということをも早めに把握できるようにすることはもちろんのこと、その他にも自分がモチベーションを保てる方法や効率的に知識を取り入れられる勉強方法など、公務員就活をしていく中で自分のことを理解して、自分なりの取り組み方でやってみてください。また、勉強方法や面接練習ではなるべく色々な人の意見を聞いて、参考にすることをおすすめします。苦しい時もあるかと思いますが、自分を信じて突き進んでください!応援しています!



富松 玲雄さん
法学部 政策科学科
出身校：福岡県立小倉西高等学校

内定先： **北九州市役所**

職種： **行政職(地方公務)**

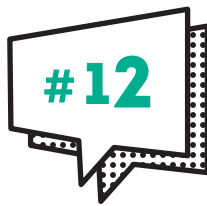
目指したきっかけ、 大学生活で力を入れたこと

私がこの業界を目指したのは、大学3年生の8月頃に公務員説明会に参加したことがきっかけです。説明を聞く中で公務員は

国民・市民一人ひとりに対して業務を行っていることを知り、現状抱えている国や地域の課題への解決のために尽力している姿に憧れと興味を抱くようになりました。大学生活で力を入れたことは「地域のボランティア活動」です。ボランティア活動の中で私はリーダーという立場を担いましたが、コロナ禍に活動数が減少したことが影響して、メンバーのモチベーション低下および知識不足という問題に直面しました。この問題を解決するために、私は不定期で実施していたミーティングを週に1回開催するように変えたことで、メンバー間での意思疎通を図るとともに、メンバー同士の接点を作る機会を増やしました。また、勉強会も新たに導入し、活動における知識不足をお互いに補い合えるように工夫しました。これによりメンバーのモチベーション向上と積極的な知識習得へと繋がりました。

就職活動について内定までの努力

私はほとんど公務員一本で就活を行っており、基本的には公務員試験の勉強にかなり時間を使っていました。公務員試験は筆記試験・論述試験・面接試験があり、内定までの道のりが



弓崎 静流さん

経済学部 経営情報学科

出身校：福岡県立八幡高等学校

内定先：**財務省 福岡財務支局**

職 種：専門職(国家公務)

目指したきっかけ、 大学生活で力を入れたこと

結婚後も仕事を続けたいため、育休制度を含めたワークライフバランスが整っている公務員が最適だと考えました。勉強を始めた頃は北九州市役所しか考えていなかったのですが、大学3年の冬に生協が開催していた公務員卒業生説明会で財務専門官という職種を知り、仕事内容と雰囲気惹かれました。

とても長いです。その中でも、筆記試験が第一関門なので、そこを突破できるように勉強は怠らないようにしました。私は勉強を始めたのが大学3年の9月で、他の受験生と比べて遅いほうだったので、まずは筆記試験の主要5科目(数的処理、憲法、民法、行政法、ミクロ経済学・マクロ経済学)を重点的に学習しました。サブ科目と言われる教科は1月頃から少しずつ進めていました。論述・面接に関しては大学3年の12月頃から少しずつ始め、それと同時に自己分析もこの時期にするようになりました。公務員を目指される方は、試験直前になって面接対策をする方が多いので、私はより自分の受け答えに厚みが出るように早めに準備を始めて、実践練習を何度も重ねるように努めました。また、自治体研究を毎日1時間はできるようにして、現状何に取り組んでいるのか、何が課題なのかを詳しく調べるようにしていました。

後輩へのアドバイス

公務員試験は対策することが多く、いつの時期から始めたら良いのか分からないと不安になることもあると思います。私が公務員試験を経験してきた中で、まずは情報収集のために公務員説明会は参加しておくべきだと思います。また、対策を段々と後回

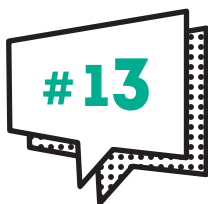
その後、何度も説明会に参加したことで、福岡財務支局で働きたいという思いが強まりました。

大学生活では、特に資格取得に力を入れました。コロナ禍の影響で大学1、2年の頃はオンライン授業がメインだったので、家にいる時間を資格取得の時間に充てていました。結果、ファイナンシャルプランナー3級、2級と宅地建物取引士の資格を取得することができました。銀行や不動産業界に就職していないので直接活かせる場面はないかもしれませんが、就職活動においては役に立ったので勉強してよかったと思えました。

就職活動について内定までの努力

大学3年の春から生協の公務員講座を受講していました。勉強は好きなほうなので、一次試験は余裕を持って準備することができました。しかし、面接に対する苦手意識が大きく、二次試験の期間は毎日辛かったです。辛さに打ち勝つため、一次試験が終わっていない段階から面接練習を生協やキャリアセンター、若者ワークプラザを利用して何度も行いました。多くの人に面接練習をしてもらったおかげで、内定を獲得することができました。また、第一志望だった福岡財務支局の説明会には計7回参加しました。

しにしていくと、試験直前期になって詰め込んでしまったり、このままで大丈夫なのかと焦りや不安が出てきたりするので、早めに勉強に取り掛かることが大事だなと思います。そして、不安なことは一人で抱え込むのではなく友達や先生など周りの人を頼っていくことも非常に大切だと思います。私も就活中は不安になりすぎていたことが多く、よく友達に相談していて、周りの人がいたからこそ乗り越えられたと実感しています。試験勉強に打ち込むことは大事ですが、息抜きする時間をきちんと確保してモチベーションが下がらないように工夫した方が良いと思います。長丁場で大変だと思いますが、体調管理に気を付けながら試験勉強を頑張ってください。皆さんが無事に第一志望に受かるよう応援しています。



河野 莉奈さん
文学部 比較文化学科
出身校：広島県立廿日市高等学校

内定先： **広島県庁**

職 種： **行政職(地方公務)**

目指したきっかけ、 大学生活で力を入れたこと

民間就職と悩んでいた際に、県庁の夏のインターンに参加したことが、公務員を目指す一番のきっかけになりました。私は大学生活で、アルバイトに特に力を入れました。アルバイトで、たくさんの人と関わり、チームワークを大切にしながら働くことができたので、そうした経験を得たことで、働く上で重要視されそうな点を、面接で話すことができたと思います。自分一人の力で何かを成し遂げることも大切ですが、チームで何かをするという経験を大学生活の中でできると、とても良いと思います。

就職活動について内定までの努力

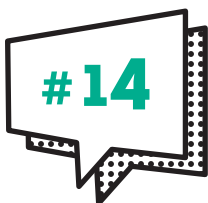
私は、公務員専願だったため、民間企業の就職活動はしませんでした。広島県庁では、オンラインでの説明会が開催されており、それに参加したりして仕事内容への理解を深めました。また筆記試験後は、面接練習や面接カードの添削で大学のキャリアセンター、公務員講座、若者ハローワークなどを利用しました。たくさんの人に見ていただくことで、様々なパターンで練習でき、自信に繋がりました。

後輩へのアドバイス

私は文学部出身で、憲法や民法、経済学など主要な科目のほぼすべてが、知識ゼロの状態からのスタートであったため、勉強についていけるのかとても不安でした。しかし、初学者でも問題集を繰り返し解くことで、必ず理解できるようになることを、身をもって体感しました。予備知識がないことが不利になる試験ではありません。大丈夫です！

また、公務員試験の試験範囲は膨大です。初めからすべてを理解しようとするにこだわらず、問題に触れる回数を増やすことが重要であると感じました。

自分を最後まで信じて、頑張ってください！



森田 健太さん
経済学部 経済学科
出身校：長崎県立長崎南高等学校

内定先： **株式会社西海建設**

職 種： **総合職**

目指したきっかけ、 大学生活で力を入れたこと

地元長崎に貢献できる仕事がしたいと考えており、内定をいただいた企業は本業である建設業以外に、プロスポーツチーム

の協賛や文化・スポーツの復興にも力を入れており、自身のやりたいことができると感じたため、この企業を目指しました。大学生活では、野球部でメンバーに入るため、毎日の全体練習後の自主練習に力を入れました。自分に足りないものを把握し、必要なメニューを組み立てて、継続して練習に取り組みました。

就職活動について内定までの努力

自己分析、特にガクチカ(学生時代に力を入れたこと)や自己PRなど念入りに添削してもらいました。エントリーシートなどは最初から100%のものを書こうとせず、書いて添削してもらうことを繰り返し行うことが大切です。面接練習においても、色々な人を相手に練習を繰り返し、経験を積んでいくことが、苦手克服に向けて重要なことです。

後輩へのアドバイス

エントリーシートや面接などの上達のためには、繰り返し練習を行うことが一番大切なことです。



N.M.さん

文学部 比較文化学科

出身校: 山口県立下関南高等学校

内定先: **日鉄エンジニアリング株式会社**

職種: 事務

目指したきっかけ、 大学生活で力を入れたこと

生活の基礎を支えるようなモノづくりに携わりたい、唯一無二の仕事に関わりたいという想いを叶えることができると感じて、この企業に興味を持つようになりました。また、営業職を中心に就活を進めているなかで、自分の中でズレを感じていた時期に、エキスパートスタッフという幅広い領域で事務の仕事を提供してもらえる職種を知り、この企業を目指すようになりました。大学生活の中でも、アルバイトや学内イベントスタッフの仕事、資格の取得に挑戦するなど、様々なことに力を入れました。

就職活動について内定までの努力

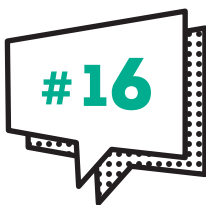
特に自己分析と面接練習に力を入れていました。自己分析について、私の内定先の面接では、結果よりも過程を聞かれることが多いと聞いていたため、自分の取り組んできた内容に関して何を目標にしている、そこに向かってどう行動したのかを、自分の言葉で詳しく説明出来るよう自己分析を深めました。また、面接練習については、特に苦労しました。私は面接が苦手だったので、大学のキャリアカウンセラーの先生と何度も練習をしたり、一人で詰まらずに言えるように練習したりしていました。頭の中に浮かんでいることを文字に起こし、話している内容が伝わりやすくなっているかなど、試行錯誤しながら取り組んでいました。

後輩へのアドバイス

既に自分の進みたい道がはっきりしている人、まだ悩んでいる人、様々な人がいると思います。

私は後者で、色々迷いながら就職活動を行ってきました。時につらくなってしまう時期もあるかもしれませんが、自分のペースで焦らず進んでいくのが一番良いと思います！

自分の納得できる結果ができるように頑張ってください！



B.H.さん

外国語学部 英米学科

出身校: 福岡県立東筑高等学校

内定先: **日鉄高炉セメント株式会社**

職種: 事務

目指したきっかけ、 大学生活で力を入れたこと

地元の企業で働きたい、自分の雰囲気合う職場で事務がしたいと思い企業を探していたらご縁がありました。大学では資

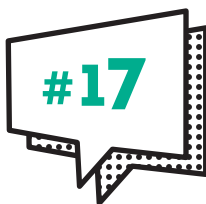
格の取得に力を入れており、TOEIC、英検、簿記、秘書検定を取得しました。

就職活動について内定までの努力

最初はどの企業、業界で働きたいかをぼんやりとしか考えていなかったため、たくさんの企業のインターンシップに参加しました。その結果、ここで働きたい!という会社に出会えました。何度もエントリーシートを書き直したり、カウンセラーの方と面談をしたりして、面接対策を重ねた結果、内定を獲得することができました。

後輩へのアドバイス

就活は大変かもしれませんが、自分のことを改めて知るきっかけ、将来について考えるきっかけにもなりました。いろんな事にチャレンジして頑張ってください。



豊島 美佳子さん
外国語学部 国際関係学科

内定先: **株式会社オカムラ**

職 種: **総合職**

目指したきっかけ、 大学生活で力を入れたこと

JOB×HUNTER(学内合同企業研究会)の運営スタッフとして、内定先の企業を担当しており、「人」に焦点を当てた空間づくりに興味を持ったため、目指し始めました。

大学生活では部活動に力を入れていました。所属していた弓道部の練習は、夕方開始のため、5限の授業で遅くなる日や大会前は、全体練習後も自分の癖を改善できるよう自主練習に励みました。また、部内では会計を担当していましたが、当時は予算も少なく、会計監査の資料作りや助成金の申請に悪戦苦闘しましたが、社会に出る前に良い経験ができたと思っています。

就職活動について内定までの努力

3年の夏休みからインターンシップや企業説明会に参加して、業種や職種について幅広く調べ始めました。2月からガクチカ(学生時代に力を入れたこと)や自己PRを書き始め、3月からエントリーシート提出や面接が始まりました。ぶっつけ本番で面接に挑むのは不安だったので、友人やキャリアカウンセラーの先生とZoomを繋いで、相手の聞き取りやすい速さで分かりやすく伝える練習をしました。選考を受ける企業と同業他社との違いや強みは、2次面接以降聞かれることが多いので、企業のHPはよく見ておきましょう。(YouTubeで商品紹介をしている企業もあります。)

これは私の反省ですが、SPIなど学力試験の対策も、毎日少しずつ行くと困らないですよ。

後輩へのアドバイス

就職活動は人によって期間も違い、連日の面接で周り比べて焦ってしまい心身ともに疲弊することも多かったので、人と話して不安を溜め込まないように意識していました。最終面接が東京や大阪など都市部で行われる場合は、「就職活動」というより「小旅行」という感覚で気楽に臨んでも良いかもしれません。(実際に私も面接が終わった次の日に東京観光を楽しんでいました。)

就活は人生の通過点だと思い、悲観しすぎず、キャリアセンターや周りの人を頼りながら自分の納得する進路を決めてください。応援しています。



S.K.さん
経済学部 経営情報学科

内定先: **キャノンマーケティング
ジャパン株式会社**

職 種: **総合職**

目指したきっかけ、 大学生活で力を入れたこと

アルバイトで商品の発注作業をしていた際に、事務作業の効率の悪さを改善したいと思ったのが内定先を目指したきっかけで、この会社でなら自身の思いを実現できる環境だと感じたため選考に臨みました。私は、サークルや部活には所属していなかったため、大学生活では日々の授業に力を入れていました。どの課題を優先して行うべきか、どの授業からテストの対策をすべきかを考えながら、計画的に取り組むことを意識していました。そこから得た計画力は、社会に出てからも、業務に取り組む上で重要な能力だと思うので、力を入れてよかったと感じています。



仙波 桃香さん
外国語学部 英米学科
出身校：福岡県立門司学園高等学校

内定先：九州電力株式会社

職種：事務

目指したきっかけ、 大学生活で力を入れたこと

この企業を目指したきっかけは、合同企業説明会に参加した際に電力以外の事業にも取り組んでいると知ったことでした。就職した後も、様々な分野で活躍する機会があり、それが私にとって、非常に魅力的で自分も将来ここで働きたいと強く思いました。

就職活動について内定までの努力

内定までに意識したことは、大きく2つあります。1つ目は、広く業界を見ることです。興味のある業界のみについて調べるのではなく、少しでも気になったら、説明会、インターンシップに早い段階から参加することを心掛けていました。結果として、その業界が自分に合っているかどうかが明確になり、就職活動が本格化した際も迷うことなく自信をもって選考に挑むことができたと感じています。

2つ目は、エントリーシートを早い段階から作ることです。「学生時代に力を入れてきたこと」や「長所、短所」はどの企業でも聞かれやすい項目なので、早くからWord等で文字に起こすということを心掛け、時間が空いているときにブラッシュアップをして、エントリー開始後にはすでに完成しているという状態でした。本選考開始後に気になる企業が出てくることも少なくはないと思います。そこから新たにエントリーシートを作成すると、他の対策も疎かになりかねないのですが、事前にエント

また、以前から、将来英語を使って仕事をしたいと思っていたため、大学の授業に加えて英検やTOEIC、留学など英語学習にも力を入れて学生生活を送っていました。この事前準備のおかげで、自信を持って面接を受けることができました。

就職活動について内定までの努力

就職活動については、3年生の5月に一人で合同企業説明会に参加し、その後もインターンシップに参加するなど、周りより早くから積極的に動き続けました。

SPIや玉手箱など企業の採用選考で利用される適性検査についても、大学の対策セミナーを受講し、自分に出来ること全てに取り組みました。就職活動はいつ始めても早すぎることはないため、自分の目標を立てた上で、早め早めに行動することが大切です。

後輩へのアドバイス

就職活動はすべきことが沢山あって大変ですが、早く、そして積極的に動いておけば良いことがたくさんあります。一歩ずつで良いので、将来の自分のために頑張ってください！

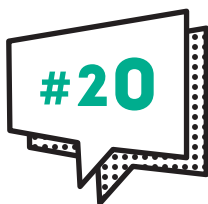
リーシートを作っておくと、そのような場合にも対応でき、効率よく就職活動を進めることができると思います。

後輩へのアドバイス

自分なりに就職活動を経験して、皆さんに伝えたいことは、この就職活動という時期だからこそ、自分自身について深く知る時期にしてほしいということです。

過去の経験から自分自身はどんな人間だったかを振り返ってみたり、家族や友人から自分自身の印象について聞いてみたり、説明会やインターンシップに参加してみて自分自身に合っているかどうか考えてみたり、自分自身について知る手段はたくさんあります。それらをこの就職活動という時期だからこそ考えてみてほしいです。そうすると、明確にこの企業、業界で働きたいとまではいかなくとも、この業界、この会社でなら自分は働けそうというイメージが湧いてくると思います。

無理に焦らずに、自分自身のペースを保ちながら、最終的に納得した企業に出会えることを祈っています。



K.Y.さん
経済学部 経済学科
出身校: 鹿児島県立
鹿児島中央高等学校

内定先: **TOPPAN株式会社**

職 種: 総合職

目指したきっかけ、 大学生活で力を入れたこと

この企業を目指した理由は「私たちの周りにある生活用品のパッケージングを多く生産している」という点です。また、プラスチックを最大限使用しないパッケージの開発を進めている点でも興味を持ちました。

大学生活では、JOB×HUNTER(学内合同企業研究会)の運営スタッフとしてパンフレット等の広報物の作成や参加企業誘

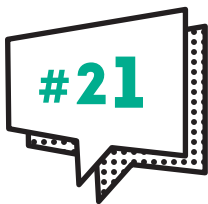
致に携わるなど、積極的に行動したことで培ったプレゼンテーション能力を活かし、ポスターを用いて研究結果を視覚的に表現するポスターセッションでは、最優秀賞を獲得することができました。

就職活動について内定までの努力

就職活動は、元々3年次の早期選考からエントリーシートを作成していたため、企業研究は早い時期から出来ていたと思います。また、JOB×HUNTER運営スタッフとしてイベントに携わった経験などをエントリーシートで上手く表現できるよう、文章の推敲等も重ね、本選考の提出時には、書きたいことがしっかりと文書化されたものが手元にある状態から始めることができました。

後輩へのアドバイス

大学生活は長いようで短いので、興味を持ったことには積極的に参加してみてください。それが、直接就職活動に関係することでもなく、自身の成長に繋がりますし、意外な点で就活に役に立つことがあると思います。



M.R.さん
経済学部 経営情報学科

内定先: **TOPPANエッジ株式会社**

職 種: 総合職

目指したきっかけ、 大学生活で力を入れたこと

「全ての人にとって暮らしやすい会社を実現する」ことを軸に就職活動を行っていました。数あるITサービス企業の中でも、この企業は歴史があり、デジタルとアナログの両面から「情報」にアプローチできる人にやさしいITサービス企業であることが特徴です。この、人にやさしいITサービス企業でありながら、新規事業に挑戦している点、また福利厚生や待遇面などからこの企業を目指すようになりました。



I.K.さん
経済学部 経営情報学科

内定先: **株式会社福岡銀行**

職 種: **総合職**

目指したきっかけ、 大学生活で力を入れたこと

様々な業界や企業の経営戦略を練りたい、そして融資で問題の根本から解決することができるという点から、銀行を志望しました。

大学生活で力を入れたことは、アルバイト先で新人の早期戦力化を行ったことです。それまでは、どこまで教育したのか分からない、教え漏れがあるなどにより、研修の終了までに半年ほどかかっていました。そこで、ホールスタッフが行う業務一覧表を作成し、チェック項目を設け、研修が終わっていないものを目でわかるようにしました。すべての業務を分かりやすく記載す

ることに苦労しましたが、これにより研修期間を2ヶ月に短縮することができました。

就職活動について内定までの努力

私は、3年生の6月にキャリアセンターの講義を受けてから、就職活動を始めました。エントリーシートや面接でよく聞かれる、ガクチカ(学生時代に力を入れたこと)や自己PRが何もないことに気づき、そこから内定まで自分に足りていないことは何かを考えながら就職活動を行いました。ガクチカでは、アルバイト中に仕事をしながら気が付いた業務改善案を実行したエピソードを書き、そこから学んだことや社会で活かせる力についてまとめました。

後輩へのアドバイス

まずは自己分析をしっかりと行うことが大切だと思います。自分がどういう時に力を発揮できるか、どういうことをしているときが楽しいのか、将来どうなりたいのかなどについて、過去の自分の経験を思い出しながら、深く自分と向き合うことが大切だと、就職活動を通して感じました。自己分析がしっかりとできていると、業界を絞ることができますし、志望動機も困らずに書くことができると思うので、早めに自己分析をしておく、その後の就職活動が少し楽になるのでおすすめです。

就職活動は大変で、これまでの人生で経験したことのないことにも沢山直面すると思いますが、諦めずに第一志望の企業の内定を目指して頑張ってください! 応援しています!

就職活動について内定までの努力

SPIはテストセンター形式であったため、以前の結果を使いまわすことが可能でしたが、再度SPIの勉強をやり直してから受験しました。また、一次選考はグループディスカッションのため、何度かグループディスカッションの選考を受けておくと良いと思います。また、好きな商材についても聞かれることがあるので、企業についてよく調べました。

後輩へのアドバイス

SPI(言語、非言語)の勉強は必須です。グループディスカッションでは謙虚な姿勢が大切です。3次選考である個人面接で、おおたか合否が出ていそうな感じだったので、ここがポイントであると思われます。論理的に話す練習をしておくが良いと思います!



氏名非公開
地域創生学群 地域創生学類

内定先: **株式会社JTB**

職種: **総合職**

目指したきっかけ、 大学生活で力を入れたこと

私はもともと観光業に興味があり、特に有名観光地に行くというよりも少しマイナーな場所を旅行するのが好きで、多様な旅行の仕方を提案したいと考え、本格的に観光業への就職を目指しました。

また、「旅行」だけでなく、大学で4年間力を入れて学んだ「地域創生」「まちづくり」にも積極的に関わりたいと思ったため、旅行会社の中でも自治体などと多く関わる機会のあるJTBで働きたいと思い、入社を目指すようになりました。

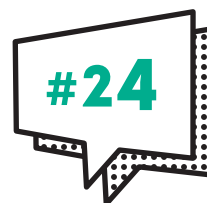
就職活動について内定までの努力

私は旅行会社に入るのに重要な「語学力」があまり身につけておらず、海外旅行先でも日常会話程度の英語しか話すことができなかったため、どのようにしてほかの就活生の皆さんと差別化を図ろうかととても悩みました。選考が進めば進むほど自信を失いそうになりましたが、大学で学んだ「地域創生」の観点からみる旅行のあり方や、地域の魅力をどのようにして拾い上げていくかなどを、自分なりに考えながら意見を述べました。

また、面接の質問ひとつひとつに、しっかりと自分の考えや言葉で向き合いながら答えていくことで、自分の良いところを出すことができたのではないかと思います。

後輩へのアドバイス

就活を進めていくと、自分に自信がなくなることや、本当はどんな仕事がしたいのか、わからなくなってしまうこともあると思います。他の就活生と自分を比べるのも、選考に進んでいくには大切なことではありますが、まずは自分の思いや就活を始めたころのフレッシュな気持ちを忘れずに、粘り強く頑張ってください。自分よりもすごいと感じる就活生もたくさんいるかもしれませんが、しかしながら、背伸びしすぎず、自分の考えや思いを素直に面接官の方などに伝えてみてください。きっとあなたの良いところに気づいてくれるはずです！応援しています！！



T.A.さん
文学部 比較文化学科
出身校: 山口県立華陵高等学校

内定先: **株式会社ピエトロ**

職種: **総合職**

目指したきっかけ、 大学生活で力を入れたこと

私はJOB×HUNTER(学内合同企業研究会)の運営スタッフとしての活動に、特に力を入れて取り組みました。学生のうちから様々な業界の人事の方とお話しする機会があったため、社会人としての基礎的なマナーが身につくことはもちろん、企業選びの基準も見つけることが出来ました。私が内定をいただいた会社もJOB×HUNTERがきっかけで興味を持ちました。食という、人の生活に欠かせないものを、ここ福岡から手広く支えている点に興味を持ちました。

また、説明会や面接でお話ししていく中で、社員の方々の雰囲気自分が合っていると感じ、入社を決意しました。



N.A.さん

文学部 比較文化学科

出身校：福岡県立香住丘高等学校

内定先：**学校法人 麻生塾**

職 種：総合職

目指したきっかけ、 大学生活で力を入れたこと

大学に入学して、JOB×HUNTER(学内合同企業研究会)の運営スタッフとして活動した際に、キャリアセンターの方々が学生のために働く姿を見て、私も学校関係で働きたいと思うようになりました。大学生活では、学業とその他の活動の両立に力を入れていました。普段の授業は単位を落とさないように必ず出席し、毎年発表される成績優秀者に選ばれることを目標に勉強をしました。

アルバイトは週に3・4回程度、さらにJOB×HUNTERの活動もありましたが、隙間時間を活用して学業と両立させ、3年間成績優秀者として選ばれました。この大学生活で、忙しくても粘り強く活動できる力が身についたと思います。

就職活動について内定までの努力

大学2年生の頃からJOB×HUNTERのスタッフとして活動していたため、活動する上で企業研究を行ったり、自己分析を行ったりする機会 was ありましたが、実際力を入れて就職活動を始めたのは3年生の12月頃でした。

まずは、自分がどのような仕事がしたいか等、就活の軸を明確にするところから始めました。私の就活の軸は「(どのような仕事であれ)仕事相手が目の前にいること」でした。この軸に沿って業種は絞らずに就職活動をしていきました。

エントリーシートは最低3人の方に見てもらい、面接は何度も繰り返し練習を重ねることを心掛けました。最終的には志望度の高かった学校関係の法人から内定を獲得することができました。

後輩へのアドバイス

まだ、どんな仕事がしたいか決まっていない学生も多いと思いますが、就職活動をしていくうちに、気になる企業は現れてくると思うので、まずは気楽にマイナビやリクナビのアプリを開いて、空き時間に企業検索してみると良いと思います！

一人で抱え込まずにキャリアセンターの方や友達などに相談することをおすすめします！大変だとは思いますが、何となくでもいいので、まずは自己分析や企業研究をしてみましょう！

みなさんの就職活動を応援しています。

就職活動について内定までの努力

私は就活の中で、企業研究に一番時間をかけました。受けた業界や職種が細かく定まっていなかったというのがありますが、ホームページで見たものと、直接社員の方のお話を聞くのとでは、かなり印象に差があるように感じたため、少しでも気になった企業があれば積極的に合同企業説明会に参加するようにしました。その際、ふらっと立ち寄ったブースが、これまで知らなかったけれども自分が興味を持てる企業だったこともあります。いいなと思う企業の選択肢が増えたことで、この中の企業ならどこに受かって納得できるな、と考えながら就活を進めることが出来ました。私の就活の中でもかなり前向きな努力だったと思います。

後輩へのアドバイス

私は業界や業種をあまり絞らず、様々な企業にエントリーしました。そのため、聞かれる質問や調べておくべき事前情報の量が膨大でした。そんな中でSPIの対策まで手が回らず、苦戦した苦い経験があるので、皆さんは時間に余裕のあるうちから問題集を解くなど準備しておくことをおすすめします。

そして、説明会は、できるだけたくさん参加してください。同じ業界であっても比較することで、自分に合った会社がどのようなところかが分かることもあります。

就活は自分と企業とのマッチングなので、あまり気負い過ぎず、広い視野を持って頑張ってください。

「社会で働く上で必要とされる力」の養成と、 きめ細かい就職活動支援

Career Center キャリアセンター

キャリアセンターの目的 キャリアセンターの目的は大きく分けて2つあります。

1 社会で求められる力を養成すること

2 きめ細かい就職活動支援を行うこと

両立

この2つを両立
させることで、

“就職できる学生”から
“社会で活躍できる人材”への
ステップアップを支援します。

キャリアセンターの 利用について

場 所	本館1階「学生プラザ」内 (A-101教室向かい)
開館時間	月曜日～金曜日 9:00～17:00

※土日・祝日は休館。

※開館時間は変更する可能性がありますので、事前にHP、
お電話等でご確認ください。

キャリアカウンセラー (キャリアコンサルタント[国家資格])による就職相談

キャリアカウンセラーに就職活動全般やキャリアプラン
について相談ができます。

「就職活動を何から始めればいいのかわからない…」と
いった相談から、エントリーシート添削や面接練習もで
きます。一対一でじっくりお話ができるように予約制と
なっています。



学生と時代のニーズに応えるキャリアセンターの取組

キャリア形成支援の正課授業

キャリア形成のための様々な正課授業を設けて
います。授業を通して自己理解を深めるほか、コ
ミュニケーション能力を高め、職業観を養成しま
す。社会で求められる能力をしっかりと身につけ
られます。

学生主体の実践プロジェクト

実践的な活動を通して、スキルアップできる機会を
数多く設けています。学生が主体となって、様々な
プロジェクトを企画・運営することで、仕事の仕組
みやノウハウ、社会人マナーについて学べます。

就職活動支援

キャリアカウンセラー、各学部担当職員など経験
豊富なスタッフが進路の相談に応じます。スタッフ
を面接官役にして、実践さながらの模擬面接を受
けることもできます。また、学内に就職支援講座
を開催しています。

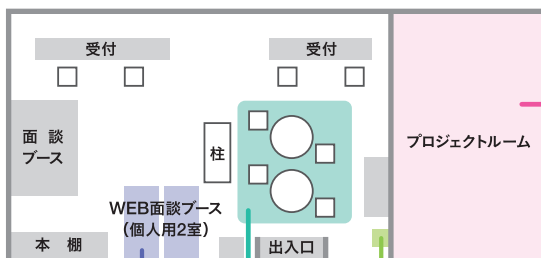
キャリアセンター入口



WEB面談ブース



採用選考・インターンシップ選考の
ためのWEB面談で使用できます。



ラウンジスペース



本を読んだり、求人票を見たり、学生が
自由に使えるスペースです。日経新聞の
閲覧もできます。

ドリンクサーバー



プロジェクトルーム



様々な就職支援講座が行われる会場で
す。面接対策講座、エントリーシート講
座、グループディスカッション講座、自己
分析講座など、多くの就職支援講座を
開催します。また、企業・団体の説明会や
研究会、座談会等も実施します。

キャリアセンター公式LINEのお友だち登録
特典として、ワンドリンクプレゼントします。
窓口で登録画面を見せてください!

北方キャンパスの特色ある就職支援

エアライン特別講座(3年生対象)

本学では、地元航空会社と連携し、学部3年生を対象として「エアライン特別講座」を実施しています。現役の客室乗務員等から航空業界の現状や業務紹介のほか、プロフェッショナルの仕事・キャリアプランについて学んでいます。

この結果、近年、本学ではキャビンアテンダントへの採用者数が全国の国公立大学でトップクラスとなっております。



公務員研究室

2014年度から公務員専門学校講師による「公務員研究室」を開設し、公務員を目指す学生を全面的にバックアップしています。全学年対象の「なんでも相談会」を毎月開催し、1・2年生は「公務研究ゼミ」で業界・職種・自己理解等を深め、4年生は、応募書類や面接カードの添削、面談や面接対策等を何度も行います。この結果、毎年、多くの公務員合格者を輩出しています。



各種就職支援講座

● キャリアセンター年間スケジュール

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
主なイベント	インターンシップ等ガイダンス(夏)	インターンシップ等学内合同説明会(夏)	インターンシップ等(事前研修)			インターンシップ等(事後研修)	就職ガイダンス	インターンシップ等ガイダンス(冬・春) JOB×HUNTER	グループ企業研究セミナー 業種・企業・職種研究セミナー			
4年生	企業説明会参加		選考・面接									
	学内個別・合同企業説明会実施											
3年生	マナー講座、業界研究、夏季インターンシップ等参加							各種イベント・支援講座参加、冬季・春季インターンシップ等参加				企業説明会参加
2年生	低学年向けインターンシップガイダンス											
1年生	情報収集、業界研究、オープン・カンパニー(仕事体験)、各種イベント参加											

キャリアセンターオリジナルHP



最新の情報を学年別に確認できる！
北九大の就職情報が充実！！

右記QRコードを読み取り、
スマートフォンのホーム画面に保存し、
いつでも確認できるようにしよう！



※QRコードは株式会社デンソーウェブの登録商標です。

北方キャンパス 学生支援課就職係「キャリアセンター」



モノレール小倉駅
(小倉駅ビル3階)

福岡・博多・
高速バスターミナル

[モノレール約10分]

[高速バス約70分]

競馬場前
(北九州市立大学前)

[徒歩約3分]

北九州市立大学
北方キャンパス

〒802-8577 北九州市小倉南区北方四丁目2番1号
TEL:093-964-4014(直通) FAX:093-964-4010
Eメールアドレス:syusyoku@kitakyu-u.ac.jp
ホームページ:https://www.kitakyu-u.ac.jp

ひびきのキャンパス 学務課学生係



[学 部]・国際環境工学部
[大学院]・国際環境工学研究科

折尾駅

学研都市

[市営バス
西鉄バス 約20分]

学研都市
ひびきの

[徒歩約2分]

北九州市立大学
ひびきのキャンパス

〒808-0135 北九州市若松区ひびきの1番1号
TEL:093-695-3350(直通) FAX:093-695-3358
Eメールアドレス:h-gakusei@kitakyu-u.ac.jp
ホームページ:https://www.kitakyu-u.ac.jp/env/